

※この報告書の(受講者の声)までが、なごや環境大学のウェブサイト上に掲載されます。

様式2
(2024年度)

事業実績報告書

講座番号	C-02	講座名	高速道路の長寿命化を目指して ～NEXCO中日本の取り組み～
記載日	2024/6/13	団体名・企業名	中日本高速道路株式会社
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>NEXCO中日本グループでは、橋の状態を様々な点検機器や点検手法を用いて確認し、必要に応じた適切な措置を施すことで、橋の長寿命化に努めています。新しい橋を作り、架け替える場合には多くの資源やエネルギーが必要となるため、橋を長寿命化させることで、橋の架け替えを減らした分の環境負荷が軽減されていると考えています。</p> <p>本講座は橋の状態を確認するための「点検」に焦点を当て、各地の橋で実際に劣化した橋梁部材を収集・組み合わせられた研修施設「N2U-BRIDGE (ニューブリッジ)」の見学を通じて、皆様に老朽化した構造物状態や維持管理技術について学んでいただくものです。</p>			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
橋梁や点検に関する座学の様子		N2U-BRIDGE (ニューブリッジ) 見学の様子	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>座学では、日本の道路事情やアメリカの橋梁損壊事例を交えながら、橋を長寿命化させていく意味や重要性について解説し、劣化要因・メカニズムや現場で使用されている点検機器・手法についてご紹介しました。</p> <p>劣化による損壊をご紹介した際には、驚きの表情を浮かべている方が多くおられました。</p> <p>ニューブリッジの見学では、劣化した実物の橋梁を見ていただきながら、座学で学んでいただいた劣化の要因・メカニズムをより具体的にご紹介しました。皆様、熱心に聞いていただき、様々な疑問が生まれたようで多くの質問が飛び交っておられました。また実際に使用されている点検機器の紹介では、興味津々に見学・体験されていました。</p> <p>座学・見学を通して、実物の劣化部材や維持管理技術などに触れていただき、長寿命化させることがいかに重要であるかをご理解いただけたと考えております。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)			
<p>○普段、見聞することのない部分、様子、メンテナンスの様子を教えていただいた。</p> <p>○道路のメンテナンスの大変さが分かった。</p> <p>○ニューブリッジでの体験や解説で橋梁の維持管理の具体的な内容がわかり、興味深く聞くことができた。</p> <p>○日々の点検・保全のおかげで安心して通行できることに感謝したい。</p> <p>○橋修復点検用の実物大の施設を見学させていただいてよく分かった。</p>			